



藤倉英幸《夏・網走湖》(部分) 2016年 作家蔵

道銀文化財団 ARTIST BANK 2019
北海道銀行本店ロビー展

私たちはみなさまとともに
北海道に生まれた豊かな芸術文化を
応援してまいります。

主催／公益財団法人道銀文化財団
協力／ニセコ町・有島記念館

お問い合わせ 公益財団法人道銀文化財団事務局 Tel.011-233-1029

藤倉英幸 展

あの日の風景たち

2019・8月5^(月)日 - 9月30^(月)日

(9:00~15:00土曜・日曜・祝日を除く)

北海道銀行本店営業部1階ロビー
札幌市中央区大通西4丁目1 道銀ビル



藤倉英幸《3月の雪》(部分) 2019年 作家蔵

藤倉英幸 展 あの日の風景たち

それぞれの風景の風の中を、小さな旅をして
その日みつけた、ささいな想いが
しばらくたって、^{おもいで}忘れたところに、追憶めいた風景になる。
それは、風が吹きわたってくる 丘の^{いろ}彩。
夕陽が染めあげた 空の^{いろ}彩。
冬の日^{いろ}の雪面に長くのびた 影の^{いろ}彩…。

2019・8月5^(月)日 - 9月30^(月)日

(9:00~15:00土曜・日曜・祝日を除く)
北海道銀行本店営業部1階ロビー



藤倉英幸《宗谷の岬》2019年 作家蔵



藤倉英幸《秋風譜》2010年 作家蔵



藤倉英幸《山麓にきた春》2018年 作家蔵



藤倉英幸《海辺の集落》2019年 作家蔵



藤倉英幸 略歴

1948年、北海道後志管内島野村(現・岩内町)に生まれる。北海道岩内高校に進学し、美術部に所属。そこでイラストレーションやグラフィックデザインを知る。高校卒業後は製菓会社、印刷会社、広告代理店などに勤務しながらイラストレーションやグラフィックデザインを独習。1974年に「イラスト&デザイン工房フジクラ」を設立し、独立。イラストレーターとして広告、商品パッケージ、装丁などを手掛ける。1980年前後から、北海道の人々の生活を「切り絵」で描いて新聞連載や作品集『ほっかいどうむかしのあそび』(1981年・北海タイムス社)で発表。これが契機となり、北海道各地の風景を作品の対象としてみるようになる。80年代後半に入ると、北海道の風景を

洋紙を用いて「はり絵」で描きはじめ、自身のライフワークとする。その作品は、JR北海道月刊車内誌「THE JR Hokkaido」表紙画や六花亭製菓「ゆきやこんこ」のパッケージなどで広く親しまれている。2017年に北海道ニセコ町・有島記念館に、自身が手がけた切り絵やはり絵原画、ポスターなどの印刷物約1万点を寄贈。同館では、夏と冬に定期展覧会を開催して作品を公開している。『北を旅する人へ』(1993年・あすか書房)、『四季彩紀行HOKKAIDO』(1997年・北海道新聞社)、『色彩豊かな洋紙を使ってはり絵で描く風景たち』(日貿出版社・2004年)、『静かな風を聴きながら』(2013年・共同文化社)など作品集多数。現在、札幌市在住。